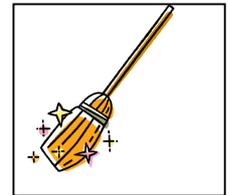


かけはし

発行者 中野敏治



tnknkai@gmail.com

高校生の姿に 心ばかりか

毎日、目を凝らしている
と、いろいろな温かい出来
事に出合います。



以前、こんな光景に出会いま
した。

ある日の夕方です。バスに乗
って帰宅するときです。この
日は私の車が点検だったので、
バスで通勤をしていたのです。

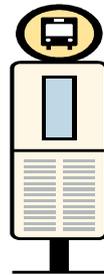
ある高校前のバス停に停まり
ました。そのバス停から一人の
男子高校生が乗ってきました。
彼は乗車口に一番近い座席に座
ったのです。

その席は一番前の席で、運転
手と同じように進行先が良く見
える席でした。

いくつかのバス停を通過し、
次のバス停には乗車を待つおば
あちゃんの姿が見えました。

彼にもそのバス停で待つおば
あちゃんの姿が見えていました。
そのときです。バスが停まる前
に、彼はさりげなく席を立ち、
つり革につかまったの

です。



バス停に停まったバスはドア
を開けました。そして、おばあ
ちゃんが乗ってきました。おば
あちゃんは、乗車口の一番近く
の席が空いていたので、そこに
座りました。

そうです。この席は先ほども
で男子高校生が座っていた席で
す。

彼はおばあちゃんが乗ってく
る前に、乗車口から一番近い席

に座っていた自分の席をおばあ
ちゃんのために空けたのです。
何もなかったように、彼はつ
り革につかまり、外を見ていま
した。

こんなにも素敵な場面に出合
えたことに、感動いっぱいにな
りました。

中学校区を美しくする会

新しい年を向かえ、一ヶ月が
経ちました。各地で街頭清掃が
行われる中、今年も中学校区を
美しくする会を継続していこう
と思っています。

左のチラシは、今年最初に行
った「中学校区を美しくする会」



新年を迎えました

撮影：群馬県大田々町 松崎様

「中学校区を美しくする会」

今後の日程 (毎月 第一日曜日 6:00~)

第5回 2月6日(日) 6:30~

第6回 3月6日(日) 6:00~

集合場所：岩原小学校

雨天中止です。

お知り合いの方に声をかけていただければと思います。

清掃用具がありましたらご持参ください。

中学校区を美しくする会事務局

のときに、配布したチラシです。
群馬県の松崎様が撮影をした
初日の出の写真を載せさせて頂
き、お正月のチラシを作成しま
した。

教員・校長先生・地域の方・
地元企業の方・保護者・教育長
さん・行政の方々など様々な方
が集まって掃除をしています。

部活動の大会がある日にも参
加してくれる先生がいました。
「これから試合があるので先に
あがりませう」とさわやかに声
をかけて、大会に出かけていきま
した。

清掃用具も集まるたびに工夫
をして持って行きます。小川に
落ちた落ち葉を、水を切りなが
ら集めるカゴや網など、そ
れぞれが工夫をしてくる
のです。一月の小川の水は、
痛く感じるほどの冷たさ
でした。水道水がこんなに
も温かいと、そのとき実感
しました。「いい汗は心の
よい栄養になります」。

私が出会った子と私たち(49)

お正月は、

教子と田舎のとき



お正月に届く年賀状には、いつも教え子達との再会を実感します。

「おやじが定年退職し、急に年を取ったように感じている」「転勤で大阪勤務になりました」「病院のリハビリに勤務するようになりました」「今年、結婚します」など、会わずとも教え子達の近況が伝わってきます。毎年、届く年賀状で教え子達の成長の様子も感じることができま

夢追い求めて

教え子のある女子生徒からも、年賀状が届きます。



中学校時代、「キャスターにな

りたい」と夢を語っていました。勉強もとても熱心にしていました。

「キャスターになるには、いろいろなことを知っていないといけないから」といろいろな本を読んでいました。

中学校を卒業してからの年賀状で彼女の人生の変化を感じてきました。

高校に入学したころの年賀状では、部活動に夢中になっていた様子が書かれてありました。



大学受験の年の年賀状には、「中学校の頃の自分の夢をかなえたい」と大学受験に向けて頑張っている姿がうかがえました。

大学に入学してからの彼女の年賀状には「テレビ局に行き、アルバイトをしている」という、夢を追いかけている姿がありました。

たくさんの友だちと大学時代

を楽しみながらも、中学校時代の夢をかなえようと、彼女は一生懸命でした。

夢かなわぬままに

大学を卒業する年です。大学を卒業して、キャスターになるという彼女の夢は、このときかなわなかったのです。

この年の彼女からの年賀状には、夢をかなえることの難しさが書かれてありました。

彼女はキャスターにはならず、他の企業に就職しました。

それから数年後の年賀状は写真入りの年賀状でした。その写真には、素敵な男性と一緒に彼女が写っていました。そして、「結婚しました」「仕事と家事で忙しい毎日を送っています」と書かれてありました。

もうキャスターへの夢は書かれてありませんでした。



彼女は あきらめてはいなかった

中学校時代からの夢をあきらめていたかのように感じていました。しかし、彼女はあきらめていませんでした。

彼女からの今年の年賀状には、この二月に家事を重視しつつ、キャスターとして働くことになったということ、二十年以上ごしの夢への一歩となったこと、などが書かれていました。



彼女は、中学校時代からの夢を二十年以上も追い求め、今、その夢に近づいているのです。
(子は宝です。)